

科目名	精神看護対象論 (Psychiatric and Mental Health Nursing)			科目コード	229
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2年次後期	関連DP	看①②③
担当教員	越智 百枝				
授業概要	<p>精神看護対象論では人々の心の健康を保持・増進すること、疾病を予防すること、心を病む人々の回復を支えるための看護の考え方や活用できる理論、法制度を教授する。また精神看護学領域で起こりやすい倫理的問題や援助者自身のメンタルヘルスについて教授する。</p> <p>本講義では事前に次回講義内容についてのレポートの提出を求め、講義時には、自己学習した理論について質疑を行いながら解説し、精神看護の対象への適用についてグループワークを用いて、学習を深める。精神看護学実習時の対象理解や看護の基本的考え方を提示する。</p>				
授業目標	<p>心の健康のあらゆるレベルにある対象を理解することや看護する上で有用な理論について理解し、実際に身近な対象に適用することや、精神疾患のある患者に適用する方法を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神看護の目的や役割と機能を理解する。 2 精神保健・医療・福祉の法制度の変遷や精神障がい者の生活への影響を理解する。 3 心の健康を理解するための理論を理解し、身近な対象に適用することができる。 4 精神看護を行う上で有用な理論を理解し、精神疾患のある患者への適用する方法を学ぶ。 5 看護師のメンタルヘルスについて理解し、自身のメンタルヘルスに関心を持つ。 				

授業計画

回	項目	内容
1	ガイダンス 精神看護とは	精神看護の目的、精神看護の役割と機能
2	精神保健・医療・福祉の歴史と法制度	精神保健・医療・福祉に関する法制度の変遷と精神障がい者の生活への影響(教育協力者)
3	心の健康を理解するための理論	心のしくみと構造、防衛機制 — 精神分析理論
4	心の健康を理解するための理論	心の発達 — 発達理論
5	精神看護を行う上で有用な理論	対人関係理論(ペプロウ)
6	精神看護を行う上で有用な理論	セルフケア理論(オレム・アンダーウッド)
7		
8	看護師のメンタルヘルス	看護師のバーンアウト
成績評価方法	授業への参加状況、受講前に課すレポートの内容(次回講義で行う理論についての概要および身近な事例への適用)、授業終了時に行う確認テスト、筆記試験により評価する。授業終了時の確認テストは、理論を現象に適用できるかを確認するため、講義時の資料を見て現象に適用できているかを評価する。筆記試験は授業目標に掲げる内容を何も見ないで記述できるかどうかを評価する。	
教科書	野嶋佐由美「明解看護学双書3 精神看護学 第3版」(金芳堂)	
参考図書等	適時紹介する。	
授業時間外の学習について	初日のガイダンス及び授業時間内に次回の授業を受講するために必要な自己学習の内容を提示する。3-8回目の授業を受講するために準備学習の時間が1回について2-4時間必要である。	
関連科目	228 メンタルヘルス論、230 精神看護方法論、231 精神看護学実習	
備考		